

## 次の時代へのいざない

阿曾 和義

本の魅力は現実から夢への誘いであり、架け橋でもあると思います。

私が初めて本らしい本を手にしたのは小学一年生の教科書でした。当時先生に教わる教科書が大好きで学校が楽しくてしょうがなかった。

何年生の頃かは記憶に乏しいが、私が通った千葉県我孫子市の湖北小学校には児童図書室(当時は児童文学室と言っていたかも知れない)があり、私は何冊か借りた覚えがあります。借りる本は決まって科学小説、今で言う宇宙やロケットを題材にした本です。それで読むのは何時も夜布団の中と決まっていた。宇宙やロケットの本を読んで、その都度布団の中にもぐって、宇宙はどんなんだろうと空想した、本当に楽しい時でした。当時布団の中で空想した宇宙空間は、今は現実となって宇宙飛行士の若田さんが宇宙へ滞在出来る時代。50年経って現実のものになっている。当時私は宇宙が手に届かないためか、年を重ねるに従い夢から現実へ眼を変えたが、ひたすら追いつけた人が今は宇宙に行けたのだと羨ましく思っています。

その視点が変わってきたのは小学五年の頃、初めて父親に買ってもらった一冊の本からです。生涯親から買ってもらった本はこの一冊になったが、この本の名前は未だに思い出せない。今でも覚えているのは日本や世界の工業・社会情勢や歴史、それに地理等 200 頁位の総合誌でした。当時私はこの本が好きで直に「とりこ」になりボロボロになる位に読んで、何頁には何をどの位、と全て記憶していた程です。

今でも出発点がこの本にあったのかと、今は亡き父親に感謝する歳にもなったが、本との接点はその内容が年代によって変化したのは確か。特に学生時代は文学小説には余り興味がなく、覚えたのは受験に必要な題名と概要で、例えば、夏目漱石の「吾輩は猫である」「草枕」や森鷗外の「舞姫」、志賀直哉の「暗夜行路」等々の「さわり部分」でした。その後社会人になって周囲の話題が文学になっても付いていけない自分が情けないと思う時もありました。しかし、その反面当時の読む本は化学の専門書ばかりでしたが、そのお陰で現在の自分があると、仕事にも活かされていると勝手に納得し思い込んでいます。

この様に、人生にはその都度必要な時に身近にある書物、それが文学小説であろうと哲学書や科学小説、化学専門書であろうと本に教えられる事は非常に多いと思いますし、本に教えられる時代でした。

今は、パソコンを開くと苦も無く内容は分かるようになりますが、それで「よし」とするとその先が見えないのも事実です。やはり興味を持った時、知りたい時はパソコンに本、専門書がこれからも必要ではないかと思っています。

そうこうしている間に私もそろそろ定年を迎えようとしています。次に来る時代に思いを馳せて、又、新しい夢を見つけに、今度は明野図書館に通い、昔夢見た布団の中の空間に戻りたいと、今から胸をときめかしています。

( あそ・かずよし / 明野美術会 会員 )

## お知らせ



4月1日から筑西市立図書館のホームページ URL が新しくなります。

(中央図書館・関本公民館図書室・協和公民館図書室の情報も見ることができます。)

パソコン <http://library.city.chikusei.lg.jp/>

携帯電話 <http://library.city.chikusei.lg.jp/opac/wopc/pc/mSrv?dsp=TP>

3月31日までは以下の URL をご覧ください

明野図書館 <http://www.library-akeno.jp/>

4月1日から新しいカードになります。身分を証明するものをご持参の上、お越しください。



筑西市立図書館 QR コード

## 4月の予定

4月11日(日)

『春になったらあけてください』  
『ぐりとぐら』

おはなし会

午後3時～  
児童室にて

4月18日(日)

『おばけのてんぷら』  
『えんそくバス』

### 図書館カレンダー

3月 MAR						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

【開館時間】  
午前10時から  
午後6時まで

は休みです。

4月 APR						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

4/29は祝日ですが開館いたします